

SEIKO Z150 クイックマニュアル

タイムレコーダの基本的な使い方や困ったときの対処方法を説明しています。本製品をお使いになる方がいつでも手に取れる場所に保管してください。タイムカードサイズですので、カードラックの空きポケットに差しおかれると便利です。

- 操作方法の詳細については、「取扱説明書」の参照ページをご覧ください。

はじめてお使いになるときは

はじめに本製品を使用するための準備をします。タイムカードに「実働時間数とその累計」を印字したいお客様であれば、締日の設定(月末締めなら不要)と印字段切換時刻をご確認いただくだけで、ご購入時の設定を変更することなく、そのままお使いいただけます。

1 電源を入れる

→取扱説明書P.12

2 リボンカセットを取り付ける

付属のリボンカセットを取り付けてください。(→本書)

3 ご購入時の設定を確認する

- 締日「月末締め(31日)」
「月末締め」以外のお客様は「締日」を変更してください。
→取扱説明書P.29

- 印字段切換時刻「午前 0:00」
印字段切換時刻とは印字する行が次の日に切り替わる時刻のことです。
深夜勤務の多いお客様は任意の時刻に変更すると便利です。
→取扱説明書P. 30

■集計方法 ①

ご購入時は、出勤と退勤時刻を打刻すれば「実働時間数とその累計」が自動で印字される設定です。

1 欄	2 欄	3 欄	4 欄	5 欄	6 欄
← 10:00	← 16:00	5:00	クイ 5:00		
← 9:30	← 17:00	6:30	クイ 11:30		
← 10:00	← 17:00	6:00	クイ 17:30		

締日: 月末締め(31日)

人数: 50人まで
(1ヵ月にタイムカードを利用できる人数)

1 欄に出勤時刻を打刻する
2 欄に退勤時刻を打刻する
↓
3 欄にその日の実働時間数が印字される
4 欄にその日までの実働時間数累計が印字される

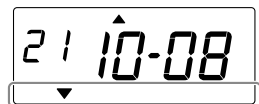
- 💡 実打刻(1欄、2欄)以外の欄に印字したくない(計算しない)ときは、集計方法を⑥に変更します。(→取扱説明書P.31)
- 印字する項目を変更したい、51人以上で利用したい、残業時間を集計したいなど、使用方法が異なる場合は、ほかの集計方法に変更します。(→取扱説明書P.17)

タイムカードに印字する

印字の位置は、自動的に選択されます。

- ⚠ 印字欄を変更する場合(印字できる欄は設定した集計方法によって異なります)は、印字したい位置を①～⑥で指定してからカードを入れてください。

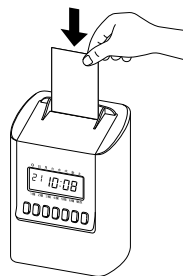
- 下図のように、画面下部に「▼」が表示されている場合は、その欄に印字されます。



- ・Zカードのバーコード部分は汚さないように注意してください。ペン書きしたり付せんなどの貼付けも厳禁です。本製品がバーコードを読み取れなくなる場合があります。

■タイムカードをカード挿入口に軽く入れる

自動的に引き込まれ、印字後自動的に上がってきます。



■欄を指定して印字する

印字する欄を変更するときは、①(1欄)～⑥(6欄)のいずれかを押してからタイムカードを挿入してください(印字できる欄は設定された集計方法によって異なります)。

- 既に印字した欄に重ねて印字したり、先に印字した欄より左側の欄には後から印字できません。

- 💡 押してから10秒経過する、またはタイムカードに印字すると印字欄の選択は解除されます。
- ・プログラムが設定されているときは、時間帯によって印字欄が自動的に変更されることがあります。

- ①(1欄)～⑥(6欄)のいずれかを押す
指定した欄に「▼」が表示されます。
- 10秒以内にタイムカードをカード挿入口に軽く入れる

■徹夜勤務をしたとき

本製品では、設定された「印字行を次の日に切り換える時刻(印字段切換時刻)」を越えて勤務することを徹夜と定義します。お客様の印字段切換時刻を確認し、徹夜勤務をしたときは、★(徹夜)を押してからタイムカードを挿入してください。出勤日と同じ行に印字されます。

- ★(徹夜)を押す

- 10秒以内にタイムカードをカード挿入口に軽く入れる
集計方法により、「2欄」または「6欄」に印字されます。徹夜マーク「テ」が印字されます。

■直行、直帰などによる打刻もれについて

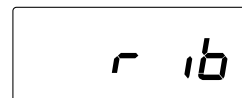
- ・日付、時刻をさかのぼって印字することはできません。
- ・直行した日にそれよりあとの印字や退勤の印字をする場合は、②(2欄)～⑥(6欄)を押してから、10秒以内にタイムカードを入れてください。
- ・修正や追記が必要な場合、ボールペンで記入してください。

リボンカセットを取り付ける(交換する)

本製品をご購入後、はじめてお使いになるときは、付属のリボンカセットを取り付けてください。ご使用中にタイムカードに印字される文字がうすくなった場合は、リボンカセットを交換してください。

- 必ず電源を入れた状態で行ってください。

- 本体を押さえて、カバーの上端部を手前に倒す
- 斜め前方に引いてカバーを本体から取り外す
- (設定開始/設定終了)を3秒以上長押しする
画面に下図のように表示され、リボンカセットが移動します。

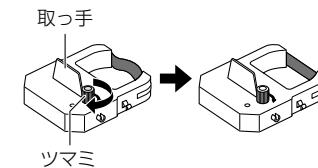


- リボンカセットの取っ手を持ち、上に引き上げてリボンカセットを取り外す

- はじめてお使いになるときは、この手順は不要です。手順5に進みます。

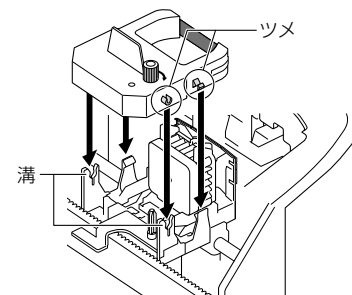
- 新しいリボンカセットのツマミを矢印の方向に回し、リボンのたるみをとる

- 逆回転させないようにしてください。リボンが詰まって破損する恐れがあります。

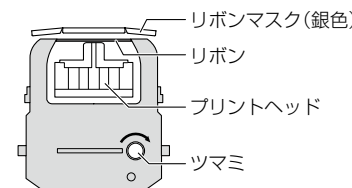


- リボンカセットのツメ(左右各2か所)を装着部の溝にパチッと音がするまで押し込む

- ・リボンカセットは本体の装着部と水平になるように入れてください。
- ・入れにくいときは、ツマミを矢印の方向に回しながら入れてください。



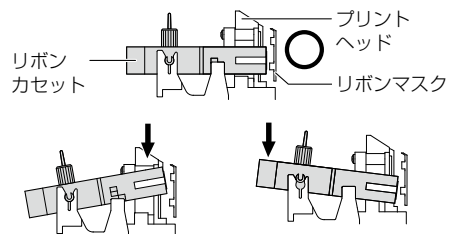
- ・下図のように、リボンがプリントヘッドとリボンマスクの間に入るように入れてください。



- リボンカセットのツマミを矢印の方向に回し、リボンのたるみをとる

8 リボンカセットの装着状態を確認する

リボンカセットが傾いてしまった場合は、矢印部分を押し水平にしてください。



9 (設定開始/設定終了)を3秒以上長押しする

画面に日時が表示されます。

10 カバー下端両側の溝を、設定パネル下部両側の突起に引っ掛ける

11 カバーを閉める

Q&A

質問	回答
深夜0時以降の打刻を出勤と同じ行に印字したい	<ul style="list-style-type: none"> 適切な「印字段切換時刻」を設定してください。 <input checked="" type="checkbox"/> (徹夜)を押してからタイムカードを挿入してください。
打刻もれを打ち直したい	データの矛盾や打刻ミスなどの恐れがあるため、打ち直しはできません。1か月分の集計を行ってから、手計算でその日の時間数を足してください。

こんなときには

こんなときには	原因と対処法
印字される位置が正しくない	<ul style="list-style-type: none"> 縦方向に段がずれる場合、適切な「罫日」を設定してください。 1日前(1行上)に印字される場合、適切な「印字切換時刻」を設定してください。 回復しない場合にはご購入の販売店もしくは当社までご連絡ください。

こんなときには	原因と対処法
タイムカードが挿入できない	打刻モードになっていることを確認してください。打刻モードでは、画面表示が日付と時間(コロンが点滅)になっていることを確認してください。なっていない場合は、リセットしてください。回復しない場合にはご購入の販売店もしくは当社までご連絡ください。
タイムカードが出てこない	電源を入れ直してください。回復しない場合にはご購入の販売店もしくは当社までご連絡ください。
印字が薄い 文字が読めない 印字が欠ける	<ul style="list-style-type: none"> リボンカセットが外れていないか確認してください。 リボンカセットの交換時期です。 リボンカセットを交換しても回復しない場合にはご購入の販売店もしくは当社までご連絡ください。
時刻が突然1時間進んだ(遅れた)	サマータイムが設定されていないか確認してください。
画面に表示される曜日がずれている	日付の設定を確認してください。正しい年を西暦の下2桁で設定してください。
設定を変更しようとしたら「99 99」と表示されて先に進めない	パスワードを入力しないと先に進むことはできません。あらかじめ設定したパスワードを入力してください。

■ エラー番号が表示されたら

エラー番号を確認し、正しい操作を行ってください。

- エラー表示から回復するには、エラー番号表示中に(設定開始/設定終了)を3秒間長押ししてください。
- 回復しない場合にはご購入の販売店もしくは当社までご連絡ください。

番号	エラー内容と対策
E-00	動作異常です。ご購入の販売店もしくは当社までご連絡ください。
E-01	バックアップエラーです。ACアダプタをコンセントから抜いてください。約10分後、もう一度ACアダプタをコンセントに入れてください。
E-05	タイムカードを正しく引き込むことができません。本製品内部にクリップ、付箋などの異物やタイムカードが詰まっているか確認してください。確認後、エラー解除を実行し再度タイムカードを入れてください。カードの引き込みが始まったら、手を離してください。

E-15	タイムカードを正しく監視できません。本製品内部にクリップ、付箋などの異物やタイムカードが詰まっていないか確認してください。確認後、エラー解除を実行し再度タイムカードを入れてください。カードの引き込みが始まったら、手を離してください。
E-16 E-18	集計データの読み出しや更新に失敗しました。もう一度、打刻してみるか、別のカードで試してみてください。回復しない場合にはご購入の販売店もしくは当社までご連絡ください。
E-17	保存用メモリのフォーマットエラーです。オールクリアを実行してください。
E-30 E-38 E-39	<p>印字ができません。</p> <p>プリンタに異常があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本製品内部にクリップ、付箋などの異物やタイムカードが詰まっていないか確認してください。 リボンカセットがきちんとセットされているか確認し、正しく装着し直してください。
E-40	パスワードエラーです。パスワードを正しく入力してください。
E-41	サマータイムが正しく設定されていません。サマータイムの開始日、または終了日の設定内容を確認して、正しい値を設定してください。
E-49	設定できない値を入力しています。設定内容を確認して正しい値で設定してください。
E-50	タイムカードが使用できない状態、またはZカード以外のカードが使用されています。Zカードかどうかの確認のうえ、タイムカードのバーコード部分に汚れや破損がないかを確認してください。汚れや破損がある場合、新しいカードを使用してください。
E-51	<p>打刻エラーです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 時計を戻すなどしていないか確認してください。 最後の打刻から1分以内に、同じ番号のタイムカードを挿入しなかったか確認してください。
E-52	<p>打刻回数のオーバーです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 退勤の打刻がされているか確認してください。 他の使用者と同じ番号のタイムカードを使用していないか、確認してください。 集計方法の設定を確認してください。
E-53	ご使用カードが50人分を超えています。当月ご使用のタイムカードが50人を超えていないか確認してください。
E-54	打刻もれのため、集計できないカードがあります。最終日の退勤打刻がもれているタイムカードを入れてください。強制的に集計できるようにします。その後打刻もれのタイムカードを集計してください。

E-56	前月分の未集計カードが挿入されました。集計ボタンを押して、集計結果を印字するか、他の未使用タイムカードを入れてください。
E-59	集計データに異常があります。「タイムカードの番号を指定して削除する」を参照して、異常があったタイムカードのカード番号を削除してください。

お手入れする

本体が汚れたときは、ACアダプタをコンセントから抜き、ほこりや汚れを乾いた布などで掃除してください。

- 本製品は清掃時に分解しないでください。
- アルコールやアルコールを含む布で清掃しないでください。

消耗品およびオプション品

タイムカード	Zカード<型番: CA-Z>
リボンカセット	Z150用リボンカセット <型番: TP-1051SB>
カードラック	<型番: CR-S10>10人用 <型番: CR-PL10>追加10人用

セイコーソリューションズ株式会社

お問合せ電話番号: 0120-132030

受付時間: 9:00~12:00, 13:00~17:00

(土・日・祝日・当社休業日を除く)

Copyright© 2017 SEIKO SOLUTIONS INC.